

## 「府民 春の自然観察会」の報告

実施日：2022年5月15日（日）

於：松尾大社、西芳寺谷



（左写真は 5.5）

### 「府民 春の自然観察会」 松尾大社、西芳寺谷の樹木をはじめとした自然観察記録

主催 （一社）京都府山岳連盟 主管 自然保護委員会

＜概要＞ 照葉樹林の極相と言われる松尾山一帯の松尾大社、西芳寺谷を訪ね、常緑樹を中心に落葉樹、野草を観察した。併せて野鳥や昆虫の観察、道中にある松尾大社、月読神社、苔寺、西芳寺古墳群などの地歴と史跡を学習した。

【日 時】 2022年（令和4年）5月15日（日）午前9時集合～午後2時解散

【観察場所】 京都市西京区 「松尾大社、西芳寺谷」

【気 象】 晴れ時々曇り

【行 程】 松尾大社第2鳥居（集合）～松尾大社社叢～月読神社～最福寺～鈴虫寺～苔寺～西芳寺谷～西芳寺古墳群～油谷（昼食）～往路を戻る～京都バス停留所（解散）

【配布資料】 実施要項、当日資料、観察樹木確認表、地歴まとめ（以上1冊閉じ） 地図

【参加者】 66名（内、自然保護委員14名）

【担当委員】 植物、虫（服部委員）地歴（杉村委員）野鳥（谷角委員）

### 観察会詳細

- ① 9:00 集合（松尾大社 第2鳥居前）  
山本委員長挨拶
  - ・ 観察会の概要と意義松尾大社の地歴（杉村委員）
  - ・ 創建の歴史、渡来秦氏との関連
  - ・ 本殿（重文）の両流造りと箱棟の唐風破風
  - ・ 赤鳥居の脇勘定 榎の12本の束





・松尾祭 還幸祭 5.15 当日午後には神輿が戻る  
松尾大社の樹木（服部委員）

- ・京都市指定天然記念物「カギカズラ」
- ・観察樹木 シラカシ、モッコク、クスノキ、オガタマノキ、ツブラジイ、トウオガタマ、ウバメガシ、アラカシ、イヌガシ、ヤマブキ、ブラシノキ

野鳥（谷角委員）

ハシボソガラス、カルガモ、オオタカ

② 10:20 月読神社

地歴（杉村委員）

- ・祭神月読尊、松尾神社の境外摂社
- ・建物は江戸期
- ・月延石（安産の石）由来

樹木（服部）

- ・ツブラジイとスタジイの違い
- ・サカキ（榊）、アリドオシ（一両）



③ 10:30 住宅地

樹木 観察種 ムベ、カナメモチ、ビワ、マサキ、ヒイラギ、ナナメノキ、ガマズミ、テイカカズラ

地歴 最福寺、鈴虫寺

- ・最福寺、開山延朗上人、源頼朝の従伯父。義経とも関係あり。住職から延朗上人像を見せていただく。
- ・鈴虫寺、臨済宗、本尊大日如来。幸福地藏菩薩（草鞋を履いた地藏さん） スズムシは6月羽化、夏から秋に成虫になる。
- ・苔寺、奈良時代、行基開創。夢窓国師が復興。池泉回遊式庭園。120種のコケ。



④ 11:30 西芳寺谷 「山の神」

樹木観察 アラカシ、コナラ、イヌガヤ、カナメモチ、コクサギ、モチツツジ

- ・コクサギ型葉序について

野草 ウワバミソウ、ユキノシタ、ミズタビラコ

- ・ハルシオンについて

ヒメジョオンとの区別点など

- ・クローバー、カタバミについて

シュウ酸を含むことなど





- ⑤ 12:05 西芳寺谷古墳群
- ・松尾学区に約 20 基、西芳寺川に 43 基の古墳
  - 古墳時代後期「旧ボウジョウ古墳群」
  - 5号橋付近の3基は石室の形状がよく残っている。

樹木観察 クロバイ、ソヨゴ、ヤブニッケイ、ヒサカキ、ウワミズザクラ



- ⑥ 12:35~13:10 油谷にて昼食



自然保護委員メンバーによる笛余興

野鳥 オオルリ姿、声（谷角）  
昆虫 オオセンチコガネ（服部）

- ⑦ 13:10~
- 油谷 樹木観察 カゴノキ、アカメガシワ、クスノキ、アオキ
- 野草観察 テンナンショウの仲間
- ・テンナンショウ、雄株と雌株による受粉の仕組み
  - ・オオイヌノフグリについて
  - 日本と西洋の命名の違いなど

- ⑧ 14:00 西芳寺谷口 人数確認、解散式  
増尾副委員長挨拶

- ⑨ 西芳寺 京都バス停留所付近流れ解散



全体集合写真（油谷）

以上（文責 服部  
写真 山本、北川、増尾、服部）